

今、想うこと 校長 大場利良

皆様には日頃より本校教育活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

いよいよ今年も残すところあとわずかとなりました。

さて、来る冬休みは、新たな年を迎えるための準備期間となります。同時に、これまでの学びを振り返り、今後の目標に向かって力強く踏み出すための貴重な時間でもあります。

今回は、私から皆さんへ、冬休みを最大限に活かすための過ごし方についてご提案します。

冬休みはチャンス！輝く未来への第一歩を踏み出そう！

1. 学びの振り返りと目標設定

・これまでの成果を振り返ってみましょう！

これまでの授業や実習で学んだこと、身につけたことを具体的に書き出してみましょう。

「どんな技術が身についたか」「どんなことに興味を持ったか」など、自分自身の成長を客観的に評価することが大切です。

・目標を設定しよう！

冬休みの間に達成したい具体的な目標を立てましょう。

例えば、「ワインディングの練習を1日に3回行う」「新しいメイク技術を習得する」「美容に関する資格

試験の勉強を始める」など、目標は人それぞれです。

ただし、目標はできる限り具体

的に、そして達成可能な範囲内に設定することが大切です。

2. 実践とスキルアップ

・復習と予習を行う！

授業で習ったことを復習し、理解を深めましょう。また、次の学期の授業内容を少しだけ先取りしてみ

るのもおすすめです。

・技術の向上をしよう！

日頃から練習している技術をさらに磨き上げたり、新しい技術に挑戦したりするなど、技術力の向上を

目指しましょう。もし美容サロンでアルバイトをしているなら、先輩にアドバイスを求めるのも良いで

しょう。

・積極的に情報収集をしよう！

美容業界の最新トレンドや情報を積極的に収集しましょう。美容雑誌を読んだり、美容系の

ウェブサイトやSNSをチェックしたりするのも良いでしょう。

3. 体力作りと心のリフレッシュ

・健康的な生活を送ろう！

冬休みはイベント関係も多く、ついつい規則正しい生活を乱してしまうこともあるでしょう。

心身とも

に健康な状態を保ちましょう。バランスの取れた食事、十分な

睡眠、適度な運動を心がけるこ

とが大切です。

・ストレス解消も忘れずに！

好きなことをしてリラックスしたり、友達と過ごしたりするなど、ストレスを溜めないようにしましょう。

う。推し活したり、旅行に出かけるのも良いでしょう。

4. まとめ

冬休みは、アルバイトや自由な時間の確保だけでなく、将来の美容師としてのキャリアを築くための大切

な時間です。ぜひ、この機会を活かして、夢、目標に向かって一歩踏み出しましょう。

「継続は力なり」という言葉があるように、何事も継続することが大切です。

冬休みに立てた目標を最後までやり遂げることで、自信に繋がります。より大きな目標に向かって進むことができ

るでしょう。

最後に教職員一同、皆様のさらなる成長を心より応援しております。

良いお年をお迎えください。

校長ブログを
発信しています！

【校長ブログVol.106】美容活動



毎月「4」のつく日に学校HPにてブログを更新しています。ぜひご覧ください。

1 学年担任より 松岡実希

令和6年も残りわずかとなりました。新年を迎えたら間もなく2年生です。今まで頼りにしてきた2年生は卒業し、今度は皆さんが新1年生を引っ張っていく番です。現在の皆さんの様子を見ているとまだまだ伸びしろがある…伸びしろしかない！と感じます。まずは遅刻欠席を無くすこと、授業が始まるまでに授業準備をするなど当たり前のことは当たり前に出来るようにしましょう。また11月に行われたインターンシップや技術大会、社会貢献活動、日々の学校生活を通して感じたことにしっかり向き合い成長していったほしいと思います。後期は試験が続きます。前期では試験に落ちてしまい悔しい思いをした人もいないのでしょうか？やればできる、やらなければならない。まずは手を動かしましょう。心新たに新年を迎えた皆さんにお会いできることを楽しみにしております。よいお年をお迎えください。



2 学年担任より 主任 橘紗絵子

まじでかっこよかったよ！
終わった後、みんなにそう言わせてくれ！！
一生懸命取り組む事は面倒くさくて、ダルくて、ダサくて、出来ないんじゃないかとやらない。そう思って、向き合うことも、真剣になることもしない、そんな格好悪い自分に打ち勝て！一生懸命な姿は失敗したってカッコいい！と本番前日に伝えた26期生卒業制作発表会。

賞を取ったチームの学生は、このチームで取り組めたからこそ取れた賞だと言った、取れなかったチームの生徒はチームメイトが頑張っていた姿をずっと見ていた、自分をもっと真剣に考えて取り組んでいたら、、、賞を取らせてあげられなかったと言っていました。失敗した事、悔いが残った事は素直に認めて次に活かしたいと言い、誰かのせいにする生徒はいませんでした。そして、心からの盛大な拍手を送った事、それが一番の成長であると同時にこの卒業制作発表会への取り組みの成果であると嬉しく思いました。

26期生みんなで一生懸命取り組んで来た成果をたくさんの方々にお見せできた事、多くの方に足を運んでいただけた事、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

残すは、国家試験です。この26期生なら、全員が同じ方向を向き、一生懸命に取り組んでいい結果を出せると信じています。ご家族の方々にはもう少し応援をよろしくお願い致します。

